



— 自然災害に備える —

今年は日本各地で自然災害が発生し、馬たちにとっても受難の年でした。こうした異常気象や震災などの自然災害は世界各地でも発生が認められ、最近では海外で発刊される馬関係雑誌にも被災時の馬の管理に関する記事をよく目にするようになりました。こうした際の馬の飼養管理の原則は「変化を最小限にする」ですが、それを実行することは困難なことが多いようです。そこで今回は、そうした記事も参考にしながら、いつかは役に立つかもしれない情報をまとめました。

・まず水、そして粗飼料

水の確保は生命維持のためにもっとも重要であることは明らかですが、非常事態下であれば、新鮮で豊富な水が馬のために用意されることは困難かもしれません。馬が1日に必要とする水の量は体重400-500kgの成馬で20-45リットル、泌乳期の繁殖牝馬であればその2倍を確保しなければならない場合があるかもしれません。せめて汲み置きして不純物を沈殿させてから与えるようにしたいものです。また、馬の飼養管理の原則のひとつに、飼料内容の変更には時間をかけて徐々に代えていくことがあります。飼料供給が停止した際にはこの原則も机上の空論にならざるを得ません。そうした状況下でもっとも安全な飼料は、手に入るのであればイネ科牧草、そうでなければ野草や稲わらなど繊維質が豊富な粗飼料を選択します。地域によっては自生している笹も有用な飼料となります。こうした粗飼料を1日あたり少なくとも体重の1% (乾物換算として) 給与することを目標とします。

・残された馬の管理は？

避難計画があったとしてもそれはヒト用のものであり、多くの場合馬はその場所に残されることになるでしょう。短い期間で馬のもとに帰ることができればよいのですが、何かの事情で誰かに最低限の管理を依頼することになるかもしれません。馬を共同利用牧場などに避難させる場合でも同様ですが、そうした場合の手助けとなる、そして誰にでもわかるように記載された指示書は非常に有用です (図1参照)。投薬など特別な管理が必要な馬や取扱いに注意が必要な馬には、指示書に記載するとともにそれとわかるよう動物用マーキングクレヨンなどで馬体に直接印しておくことも役立ちます。

大雨や河川の氾濫による浸水時には、乾草を多めに置ける小高い丘がある放牧地に避難させるのが安全です。水が引いたあとは瓦礫の除去や消毒を行うとともに、カビの発生原因となる貯蔵飼料の吸湿程度を確認します。その後の雑草の侵入や害虫の繁殖にも注意が必要です。また、馬は煙に弱く吸引すると致命傷となる危険性があるため、厩舎火災や山火発生時にはできる限り風上側に馬を避難させます。

・日ごろのシミュレーションが重要

自然災害が多発する昨今、ヒトの非難は勧告や指示に従うことの重要性は認識されるようになりましたが、馬の安全確保には日ごろの準備や訓練が重要です。地震予知は不可能ながら、断水や停電時の水の確保と給水方法、乾草を含む飼料の貯蔵量の確認、一時避難させるパドックの整備、その他緊急避難グッズ (図2) の準備、発電機があればその整備と燃料のストック、など備えあれば憂いは少なくなります。

- ① LEAVING DATE : 馬管理者がこの場所を離れた日
- ② EXPECTED RETURN DATE : 馬管理者がこの場所にもどる日
- ③ CONTACT INFORMATION : 連絡先
- ④ HORSE CARE INSTRUCTIONS : 馬の管理に関する事項

Figure 1 shows a form titled "Emergency/Natural Disaster Horse Care Instructions" from the magazine "the HORSE". The form is sponsored by UC Davis Veterinary Medicine. It includes fields for leaving and return dates, contact information (phone, email, out-of-area emergency contact), and a table for horse care instructions. The table has columns for Horse Name, Stall #, Daily Feed and Watering Instructions, Meds, and Special Instructions. There are also sections for other instructions and a note about water main locations.

図1 雑誌「the HORSE」に掲載されたカリフォルニア大学デービス校による「緊急 / 自然災害時における馬の管理指示書」

飼養者が避難した際に、残された馬の管理方法について記された指示書には、飼養者の連絡先や馬ごとに馬房ナンバー、飼料給与量、医療情報などが書き込み、ボランティアには親切な指示書となる

必要な書類・メモ

- 獣医師の連絡先
- 保険関係書類
- 馬伝染性貧血陰性証明書
- 個体を証明する書類 (健康手帳)
- 各馬の写真

飼料と水

- 乾草ネット
- 3-7日分の飼料
- 給水用バケツ
- 飼料桶
- 水槽 (避難前に満水にする)

応急と健康管理グッズ

- バンデージ、ガーゼ、ハサミ
- 傷薬 (消毒薬)、体温計
- 害虫駆除スプレー
- 馬ごとに必要な薬剤 (馬名など明記)
- やすり、剪かん (長い蹄を切ったり蹄鉄をはずす道具)

その他役立つ道具類

- 懐中電灯、ラジオ
- ブランケット
- ポケットナイフ、麻ひも
- 手袋
- マーキングクレヨン

図2 緊急避難グッズ

皆さまからのカイバに関する質問に朝井博士が答えます。JRA ファシリティーズのHP内にある『愛馬のためのカイバ道場』の問い合わせフォームからお寄せください。▶▶▶ JRA ファシリティーズ HP アドレス: jra-f.co.jp